

— “地域のアドバイザー”として、より良い郷土づくりに貢献します。 —

大和工営 株式会社



所在地：〒996-0053
山形県新庄市大字福田字福田山711番地43
TEL：0233-22-2422
FAX：0233-28-2166
URL：http://www.daiwakoei.co.jp/
従業員：28名
創立：昭和41年
代表者：代表取締役社長 小野富雄



新庄祭り(8/24～26)
豪華絢爛を競う山車行列、一度ご覧ください



社屋全景



橋梁点検車による損傷点検



山形県橋梁点検研修会(現場研修)



山形県橋梁点検研修会(実施状況)



会社の屋根の雪下ろし(年1、2回)



安全管理(社内安全会議)



安全管理(消防士による普通救命講習会)



社内の暑気払いバーベキュー



地域ボランティア(河川清掃)川の中まで
キレイに



地域ボランティア(河川清掃)集合写真



地域ボランティア(一人暮らし老人宅の雪
下ろし作業)

はじめに

母なる川、最上川。山形県内をぐるりと巡り、長い間、その生活や文化、歴史を見つめ、あらゆる動植物を育ててきた川。山々から流れ下る清水、勢いよく注ぐ大雨や雪解け水、そして流域のさまざまな活動結果を呑み込んで、流量を増し日本海へと流れ込んでいきます。その最上川中流沿いに広がる農山村の風景、その中心部の新庄市に本社を置き、昭和41年創業しました。

経営理念

当社は創業以来、多様で豊かな自然環境のなか、地域の発展に貢献することを信条に、発注者や地域住民の良き相談相手“地域のアドバイザー”として幅広く営業してきました。そのおかげで当社は“出来ない仕事は無い”と自負するほどのオールラウンドな技術と経験を身につけてきたと思っています。しかし、業界を取り巻く環境の変化に対処するためには、蓄積された技術と経験に付加価値を加えて、もっと喜ばれる成果を提供しなければならぬと思っており、役職員一同勉強を重ねながら地域の発展に寄与していきたいと願っております。

業務の実績

当社は測量業から始まり、建設コンサルタント、補償コンサルタント、一級建築士事務所と業務を拡大してきました。現在は建設コンサルタント4割、その他6割ほどの売上げとなっています。決して売上げは多くありませんが、設計技術者だけでなく多くの測量士・補償業務管理士等が在籍しておりますので、部署を横断してコミュニケーションを図りながら、より良い成果・バランス感覚に優れた成果品の提供に努めています。

当社では道路の本線や自歩道、流雪溝、交差点、橋梁、河川構造物、砂防ダム、下水道、宅地造成等の計画・設計を多く手がけています。特に山形県は橋梁補修工事の進捗率が国内トップクラスで、当社でも橋梁損傷点検・補修設計業務で多くの実績があり、確かな技術を確立しています。また、新庄市一带は農山村ということで、創業以来深く農業土木に関わってきました。地すべり地帯や急傾斜地も多く、これらの対策工法についても豊富な知識を蓄えています。

研修会及び資格取得

顧客や地域住民に満足して頂ける成果を提供する為

には技術力の向上が必須です。協会主催の研修会等に積極的に参加し技術研鑽に励むとともに、顧客や地域住民の要求が益々高まっているリサイクルや環境に配慮した設計技術、そして今後益々拡大する橋梁・道路施設・砂防施設・農業施設など多岐の分野におけるストックマネジメントに対応する為、社をあげて勉強に取り組んでいます。さらに、技術士やRCCMの資格取得者を輩出するために社がバックアップして、順調に資格取得者が増えているところです。

また安全を第一に考え、定期的な社内安全会議に加え、消防士を講師に招いての普通救命講習会を開催し全社員が受講しています。

ISO

当社は平成11年6月にISO9001の認証取得をしました。外部コンサルに頼らず社内で勉強を重ねた成果でした。また改正作業においても社内一丸となって取り組みました。まさに自分たちのISOと言えると思います。『顧客主義』、『品質主義』の理念を基に全社員が取り組んでいます。

地域貢献

初めは発注者へのアピールが主だったと思います。しかし回を重ねるごとに地域住民の喜びの顔・感謝の言葉を頂いて本当のボランティア精神が一人一人に宿ったと思います。休日の実施にもかかわらず河川清掃や雪下ろし等の作業が熱心に行われております。今後も活動を継続し地域に貢献していきたいと考えています。また各機関との災害協定も結んでおり地域の災害支援、早期復旧に貢献していきたいと思っております。

おわりに

当社のように規模の小さな企業は地域に必要とされる事が最も大事であると考え、日々研鑽を重ねて確かな仕事を続けてまいりたいと思います。それでは最後に山形県の母なる川“最上川”の俳句で当社の紹介を終わります。

五月雨をあつめて早し最上川
暑き日を海にいれたり最上川 芭蕉

(文責：総務課長 奥山征樹)